

学校の教育目標

<思いやりのある子>
互いの人格を尊重し、正義と
思いやりをもつ優しい子

<健康で明るい子>
安全で健康な生活を心が
け、実行する子

<よく考えくふうする子>
進んで取り組み、よく考
え、のびのびと表現する子

<ねばり強くやりぬく子>
目標をもち、最後までやり遂
げる子

確かな学力を身に付けさせるために、子どもの実態をふまえた指導計画の本に指導方法・指導体制を工夫し、学びの質的充実を図る。

- 基礎・基本の定着 ○わかりやすく楽しい授業の展開 ○「読む、書く、聞く、話す」の能力・態度の育成
- 形動的な評価とそれに応じた個別指導の充実 ○学習活動・学習形態の工夫 ○校内研究、研修の充実による指導力の向上

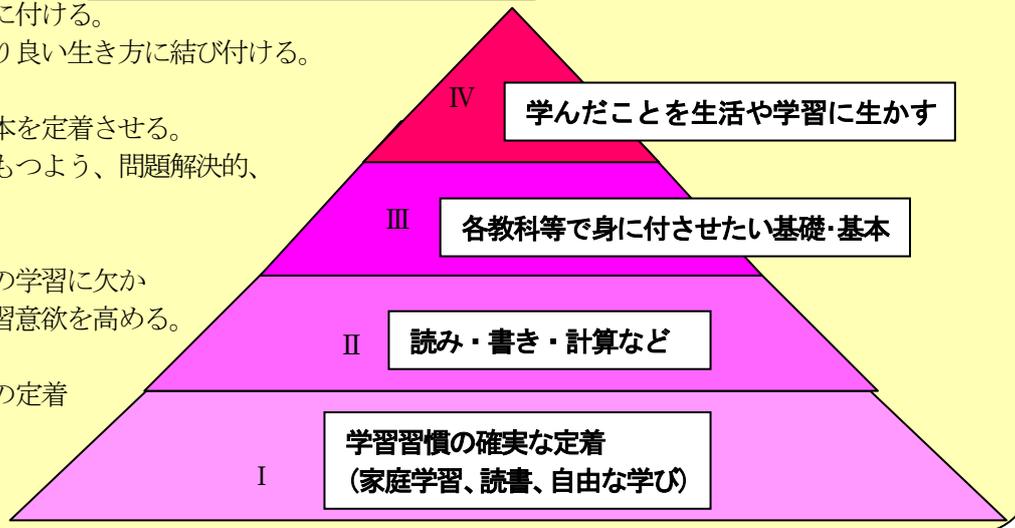
本校における「確かな学力」

- ・自ら学び、自ら考える力を身に付ける。
- ・学びを生活の中で活用し、より良い生き方に結び付ける。

- ・教科の特性に応じた基礎・基本を定着させる。
- ・子どもたちが学習した実感をもつよう、問題解決的、体験的な学習を重視する。

- ・音読、漢字、計算など、学校の学習に欠かせない技能の定着を図り、学習意欲を高める。

- ・学習相談を充実し、学習習慣の定着と個に応じた学びの方法を指導する。



具体的な取り組み

I 学習習慣の確実な定着

- ・家庭と連携した家庭学習の習慣化 (学年×10分の家庭学習の実施率 100%)
- ・家庭学習方法の相談及び提示
- ・家庭での読書 (親子読書週間の充実)

家庭学習キャンペーン
年間 4 回実施
生活・学習アンケート
個別学習相談の実施

II 読み・書き・計算など

- ・年間を通し、学年で統一した漢字・計算ドリルの実施
- ・既習事項の復習と定着 (プリントやワークシートの活用)
- ・読書量の確保と読み聞かせ・お話の会の実施、定期的な朝読書・昼読書
(年間 1,2 年 100 冊 3 年 5 千ページ 4 年 7 千ページ 5,6 年 1 万ページ)
- ・読書から学ぶ時間 (14 時間) の活用 図書館利用指導・調べ学習指導 (2 時間)、読書表現活動 (12 時間)

学習内容の定着
学び方・技能の習熟
ドリル学習による反復練習

III 各教科等で身に付けさせたい基礎・基本

- ・習熟の程度に応じた少人数指導 (算数: 3 年以上週 5 時間、2 学級 3 展開)
- ・補充・発展学習の時間の確保
- ・問題解決的、体験的な学習の重視 (生活科・理科の校内研究)
- ・ICT(情報通信技術)の活用
- ・放課後、長期休業日における学習相談

学ぶ意欲、学び方、思考力、
表現力、知識理解を身に付け
させるための指導の工夫
主体的な学習姿勢の育成
ICT の効果的な活用

IV 学んだことを生活や学習に生かす

- ・学習したことを他教科や学校生活で活用する場面の工夫
- ・地域の方のゲストティーチャーからの学び
- ・ボランティア活動 (幼稚園との交流・地域清掃活動等の体験など)
- ・夏休み作品展など、創意工夫を生かした学習成果の発表の場

各教科の発展的学習・総合的な学
習の時間の活用
学年 TT、学年内交換授業